

27

愛書家ヤコブ(すなわち P. ラクロワ) 『フランス服装史』彫像, 浅浮彫, 墓碑, 印章, 貨幣, フレスコ画, 絵画, 焼絵, 細密画, 素描, 版画, 等々の最も確かな遺物による, 愛書家ヤコブの記述した解説文付き 全10巻

Le Bibliophile Jacob. (Lacroix, Paul). **Costumes historiques de la France** d'après les monuments les plus authentiques, statues, bas-reliefs, tombeaux, sceaux, monnaies, peintures à fresque, tableaux, vitraux, miniatures, dessins, estampes, etc, etc, avec un texte descriptif par le Bibliophile Jacob, 10vols. Paris, Administration de Libraire, [1852] 25.0×11.5 cm <383.135-L-1~10>

Hiler p. 518 Colas 1702 Lipp. 1087

本書は、もともと『クロヴィスから今日までのフランスの服装』*Costumes français depuis Clovis jusqu'à nos jours* <383.135-C-1~4> という書名で、1836年から1839年にかけて、4巻本として出版されたもののいわば改訂増補版であり、ラクロワの著作としては、初期のものに属している。第1巻から第8巻までは、5世紀から1839年までの、530枚に及び銅版手彩色のプレートと解説に当てられており、第9巻は「フランス人の私生活史」、第10巻は「奢侈禁令」及び服飾関係の「散文」と「詩」の3篇に当てられている。概して図版は優れたものとはいえないが、当時としては網羅的である点と解説の良さが本書の評価を高めて次代の研究者に影響を与えた。第1巻は5世紀から13世紀まで、第2巻は13世紀から14世紀、第3巻は15世紀、第4巻は16世紀、第5巻は16世紀から17世紀、第6巻は17世紀から18世紀、第7巻は17世紀から19世紀、第8巻は19世紀前期となっている。

著者ラクロワは、フランスの作家であると同時に風俗史研究家で、自ら愛書家と号したことは、本書の著者名でも知られる。他にも彼は、デュフル Pierre Dufourt, デュブール Antony Dubourg などのペンネームを使った多面的著述家として知れている。『愛書家ヤコブのコント』(1831), でデビュー、本書の他、『中世及びルネサンスの風俗と文化』全5巻 *Le moyen âge et la Renaissance*, 1848—1851 <382.3-M-1~5> 『17世紀フランスの風俗文化』全2巻 *XVII^me siècle institutions usages et costumes*, 1880—1882 <383.135-L> 『18世紀フランスの風俗文化』全2巻 *XVIII^me siècle institutions usages et costumes*, 1875—1878 <383.135-L-1~2> 『総裁政府, 執政政府及び帝政時代フランスの風俗文化』*Directoire, Consulat et Empire. Mœurs et usages, lettres, sciences et arts. France 1795—1815.* (1884) などがある。これらの多くには、豊かな挿図が含まれている一方、のちに英訳本 *Manners, customs, and dress during the Middle Ages and during the Renaissance period* <383.135-L> も一部現れたことなどもあって、ラクロワの著作としてはむしろこちらの著作の方が一般的である。また共著には『黄金の手工芸』*Le livre d'or des métiers*, 1850—1858全5巻の他、『靴と靴職人の歴史』*Histoire des cordonniers et des artisan.* 1862 (121), などがある。(石山)